

アザミウマ^{るい}類 (ミカンキイロアザミウマ・ヒラズハナアザミウマ)

発生条件

花に集まり、花粉を摂食すると増殖力が高まる。多くの植物で発生し、圃場周辺の雑草なども発生源となる。



果実の白ぶくれ症状

ミカンキイロアザミウマ、ヒラズハナアザミウマの成虫が花に飛来して子房に産卵するため、この産卵痕が残り、果実の商品価値を損なう。



成虫

(上)ミカンキイロアザミウマ雌

(下)ヒラズハナアザミウマ雌

いずれも、体長1.5～1.7mm。両種ともトマト黄化えそウイルスを媒介するが、ミカンキイロアザミウマの方が媒介能力が高い。